

◎共同研究

Miyagatani Tumulus survey

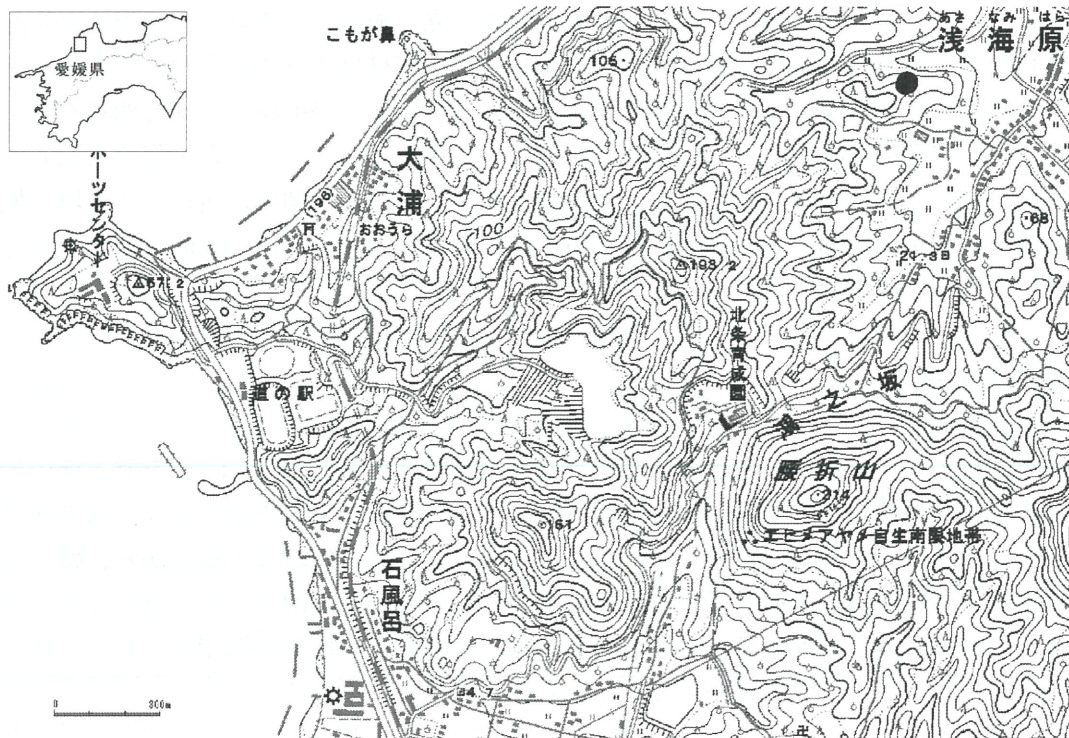
松山市宮ヶ谷古墳の墳丘測量報告

遺跡発行会

はじめに

2024 (令和6)年3月10日(日)、風早歴史文化研究会と遺跡発行会は、松山市浅海地区あさなみに所在する宮ヶ谷古墳みやがたにの墳丘測量調査を行った。両会は旧北条市内における中・後期古墳の様相を知るため、2005年以来、共同で墳丘測量調査を継続して行っており、小竹8号墳(2005年)、西ノ谷古墳(2012年)、小竹9号墳(2013年)、若宮古墳(2014年)、丸山古墳(2015年)、新城3号墳(2017年)、小竹6・7号墳(2018年)、小竹3号墳(2019年)、打越古墳(2023年)に次いで当墳が10基目になる。

以前から、浅海地区には海を支配した集団の首長墓と推測される約30m級の中期古墳が存在すること、また相田則美氏(文献3・8)によって、この地区では産出しない緑色片岩を用いた箱式石棺を主体部に持つ古墳が分布していることに注目されていた。その古墳とは、高山古墳、明見山古墳、天満宮古墳と宮ヶ谷古墳の4基である。このうち宮ヶ谷古墳は、未だ正式な測量調



第1図 宮ヶ谷古墳の位置 右上●印

The letter from ISEKI HAKKO KAI

会所だより

5月例会のご案内

下記のように5月例会を開催します。よろしくご参集下さい。

日時 2024年5月12日(日) 午前10時から12時30分
場所 愛媛県砥部町 そがめ塾 (tel 089-905-2925)

1、例会(10:00~12:30)

(1) 会所

- ①会誌『遺跡』56号発行と配布について
- ②今年度共同研究について

(2) 下記のように会員から発表があります。

- ①山之内志郎・十亀幸雄「松山市宮ヶ谷古墳の墳丘測量」
- ②名本二六雄「東予の青銅鏡」
- ③遠部 慎・名本二六雄・正岡睦夫 座談会「上黒岩岩陰遺跡をめぐって」

その他の方の発表は交渉中。当日の発表、歓迎します。プロジェクター・PCが使用できます。

ニュースレター代金の納入のお願い

2024年度のニュースレター代金の納入をよろしくお願いいたします。

従来クロネコヤマトでお送りしていましたが、クロネコメール便は廃止になりました。4月号より定型郵便でお送りしていますが郵便料金が11月から改正されます。12月号~3月号は各20円ほど(16頁程度まで)高くなります。以上のことから2024年度ニュースレター代金を1760円(昨年度1680円)と改定します。なお、2025年度は11月の料金改定を見て決めたいと思っています。ニュースレター代金は、送料が大きな比率を占めており、よろしくご理解下さるようお願いいたします。同封の振替用紙で送金下さい。

『遺跡』56号は、5月中旬にはお手元に届くように手配しています。ニュースレターと『遺跡』56号の代金を合わせて送って頂いて結構です。

『遺跡』56号代金1,600円(会員価格、定価は2,000円、送料別途370円)と合わせての代金は、

会誌を手渡しで受け取った場合 3,360円

会誌を郵送した場合 3,730円

となります。

5月例会参加の方は、遺跡56号代金(送料不要1600円)と合わせ3,360円を参加の折に手渡ししてください。

また、5月例会時に支払いをされる方は、おつりが発生しないように、できればちょうどの金額をご用意頂ければ助かります。

すでに例会時に2024年度分を前納して頂いている方は、差額80円を納入下さい。

『いせきニュースレター』2024年度代金 1,760円

郵便振替口座 01640-0-132658 遺跡発行会

第187号目次

松山市宮ヶ谷古墳の墳丘測量報告	遺跡発行会	1
東予の鏡(補遺3)西条・大日裏山4号墳珠文鏡(径7.2cm)	名本二六雄	7
近世麻生村の古樋井手・樋門一砥部町八倉集会所の古樋水路新設記念碑	十亀幸雄	9
愛媛東中南博物館インフォ5月	会所	8
会所だより	会所	16